# 札幌市立
# あつべつきた幼稚園

〒004-0073
厚別区厚別北３条３丁目 15-３

【厚別北小学校との連携】～年長児の連携の様子～

・７月、８月の２回、小学校に招待してもらい５年生と交流した。鬼ごっこやウサギとの触れ合い、ミニバレーボールなど、小学生が年長児の楽しめそうな遊びを考え、一緒に遊んだ。初めての場所に不安をもつ子もいたが、小学生が年長児を優しく案内し、遊び方を教えてくれたことで、安心して楽しく遊ぶことができた。

・２回目の交流は、１回目の経験から期待が膨らみ、交流の日を心待ちにする様子が見られた。１回目と同じ小学生と交流できるようにグループ分けが配慮されていたことで、顔見知りの小学生と再会して喜ぶ様子があった。

・各交流の前後には、小学生から招待状やお礼のお手紙をもらう、年長児から絵や手紙のお返事をするなど、継続して繋がりをもった。

・10 月には、発表会の観覧の際に招待を受け、５年生の器楽演奏、１年生の劇を見せてもらった。発表の様子を真剣に見て、刺激を受けたり憧れを抱いたりする様子が見られた。

【小学校で一緒に遊んでいる】

【視聴覚室でＰＣを教えてもらっている】

【成果】

・小学生の優しさに触れ、親しみや憧れを感じることができた。交流後の年長児からは、「小学校へ行きたくなった」という声が聞かれた。また、小学校の先生にも親しみをもち関わる様子が見られた

・小学生の発表を見せてもらうことで、刺激を受け、自分たちの遊びに活かそうとする様子が見られた。

・プールやグラウンドなどの施設を利用させてもらう、ウサギを見せてもらうなど、小学校へ行く機会が多くあることで、「小学校は楽しい所」という思いをもち、小学校を身近に感じることができた。また、小学校の施設を利用することで、幼稚園ではできない経験をしたり、広い場で開放感を味わったりすることができた。

【考察】

・交流をその時だけで終わらせるのでなく、継続して関わりがもてるようにしていくことで、小学生への親しみや繋がりが深まったのではないか。

・人的な交流だけでなく、施設の利用など小学校に気軽に行くことができる環境をつくることで、小学校を身近に感じることができ、就学に対する期待につながったと考える。

# 学校法人 北邦学園 認定こども園
# いちい幼稚園いちい保育園

〒004-0013
厚別区もみじ台西５丁目３－１

【もみじの丘小学校との連携】

・昨年から引き続き、もみじの丘小学校より交流の提案をいただき、小学５年生と、本園の年長児の交流を２度行った。
・９月には５年生が園を訪れ、自己紹介後ゲームの進行を務めた。緊張した様子の園児もいたが、後半には園児から積極的に関わる姿が見られていた。事前にどんな遊びや進め方が良いかを考え、備えていた小学生の熱意が園児にも伝わり楽しむことが出来たと同時に、進学への期待に繋がっている様子が見られた。

【椅子取りゲーム・鬼ごっこ・じゃんけん列車の様子】

・１月には園児が小学校を訪れてじゃんけん列車や〇×ゲームなどを、他園の園児も含めて１００人以上で合同参加した。前回触れ合っていたことで緊張もそれほどなくゲームに参加し、のびのびとした表情の子の姿が見られ、小学生との触れ合いを楽しんでいた。

厚別区

【成果】
・連携したことで小学校への不安感が和らぎ、期待を高めている子の姿が見られた。
・卒園児が交流に来ていたため成長した姿を見ることができ、教師（保育士）として喜びを感じた。
・普段、同年代か年下の友達と関わることが多い年長児にとって、自分たちより年上の小学生と触れ合うことで新鮮な気持ちや憧れの思い、年下の友達への思いやりの気持ちに繋がるきっかけになったと感じた。

【考察】
・継続して関わる機会をもつことで、子どもたちだけではなく、子どもから話を聞いた保護者の安心感にも繋がると感じた。
・活動を共にするだけでなく、生活している様子を見学しに来るなど、子どもたち同士の親しみや刺激が続くような交流が続けられると良いと感じた。

# 認定こども園
# 新さっぽろ幼稚園

〒004-0032
厚別区上野幌２条３丁目６－１

【小学校との連携】

・連携の様子

小学校学習発表会・児童公開日の見学
小学５年生と近くの公園清掃
１・２年生との交流
５年生との交流

・連携に至る経緯

毎年年長児が就学に向けて小学校訪問を行なっています。近隣の小学校から依頼を受けて公園清掃を行なっている。

・連携先との関係

就学する子が多い小学校
近隣の小学校

小学校訪問の様子
1年生が企画したお楽しみ会「ハッピー・ワクワクにこにこ・なかよしセンター」の輪投げコーナーに参加している様子

【成果】

連携することで、年長児が就学へ期待をもち入学を楽しみにするようになった。保育者と小学校の先生との交流が増え、情報交換がスムーズになり、安心して卒園させることができ、卒園後も子どもの育ちを共有できるようになった。

【考察】

・継続することで小学校での取組、就学前の子どもの様子など情報交換がスムーズになり、互いに保育・教育に役立つ。
・２・３学期に交流することが多いので、1学期から定期的に交流できたら良いと思う。
・教師間の情報交換だけではなく、子どもの育ちや保護者との関わりについて意見交換もできたら良い。

「ハッピー・ワクワク・にこにこ・なかよしセンター」にて、的当てをして、スタンプを押してもらっている様子

厚別区

# 札幌市立上野幌小学校

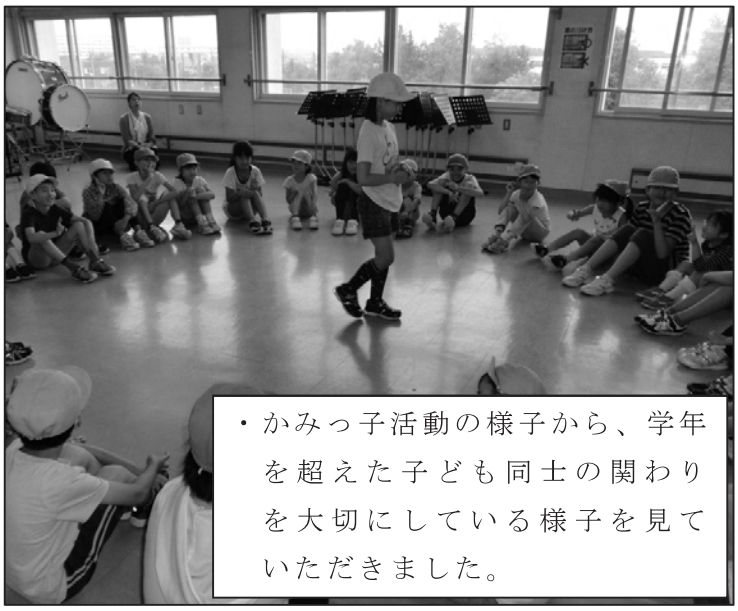
〒004-0022
厚別区厚別南７丁目９番１号

【職員の連携】

・連携の様子と経緯

新さっぽろ幼稚園の夏期研修として３名の先生方が本校を訪問してくださいました。中休みに子どもたちとふれ合っていただいたり、給食の準備に積極的に関わっていただいたりした他、昼休みにはパネルシアターを行っていただき、子どもたちの大喜びする様子が大変印象的でした。

幼稚園の先生方のきめ細かで、優しさに溢れた子どもへの接し方を拝見しながら、あらためて子どもとの接し方のあり方など、学ばせていただくことの多い連携事業となりました。



・かみっ子活動の様子から、学年を超えた子ども同士の関わりを大切にしている様子を見ていただきました。

【かみっ子活動】

厚別区

【成果】

また、こうした連携事業により、１２月には就学時健診を終えたかわいい園児の訪問につなげることができました。３０名のかわいいお客さんたちは、もうすぐ小学生に入学する期待と不安を胸にドキドキしながら訪問したことと思いますが、小学校での真剣な学習の様子にちょっとだけ圧倒されながらも、笑顔いっぱいに優しく語りかけるお兄さんお姉さんに、ほっと安心した様子が見られました。

【考察】

職員間の交流によって、より平易に子どもたちの交流の計画を立てたり、情報交換することができるようになったのではないかと思います。学校と園との距離的な問題もあるのですが、幼稚園バスを活用されて、ご来校いただき、今後もさらに連携を深めていくことができる可能性を実感させていただきました。

・熱心に学習に取り組む１年生の様子を食い入るように見つめる園児たち。熱い視線に応えて、さらにがんばりを見せる１年生。

# 札幌市立大谷地東小学校

〒004-0041
厚別区大谷地東５丁目８－１

【大谷地幼稚園との連携】

・大谷地東小学校では、毎年２月末に大谷地幼稚園の子どもたちが学校見学に訪れます。
　大谷地幼稚園は本校から徒歩 10 分弱の所にあり、入学する新１年生の人数が一番多い幼稚園です。
・１年生の教室や授業の様子を見学した後は、校内のほぼ全部を周り、ちょっとした探検気分です。理科室や図書館、パソコン室など珍しい場所に目が釘付けでした。

図書館で、図書館ボランティアのお母さん方から読み聞かせのプレゼントがありました。

【成果】

・毎年この交流を行うことで、大谷地幼稚園の子どもたちは、スムーズに学校生活のスタートラインを切れるようです。４月には６年生による１年生のお世話が始まりますが、その際にもすぐに打ち解けることができます。
・その年によって異なりますが、授業に参加させてもらうことがあり、小学校の授業の雰囲気を味わうことにより、学校生活の見通しをもつことにつながっています。
・小学生も自分の知っている子が見学に来ると、手を振ったり、名前を呼んだりと和やかな交流となっています。

【考察】

・今年度の交流は２月末を予定しています。４月に新６年生がまた１年生のお世話をすることになります。その際に６年生にとっても１年生にとっても、顔見知りで、名前を知っている関係を作っておくことが、スムーズな交流につながると考えています。
・次年度は、より連携を強化するため、もう少し早い時期にも交流をもつことや、交流内容の吟味も考えています。

ワークスペースで、１年生のお兄さん、お姉さんと交流をしています。

厚別区

# 札幌市立上野幌西小学校

〒004-0031
厚別区上野幌１条２丁目６－１

【新さっぽろ幼稚園・保育園との交流】

卒園生の多くが上野幌西小に入学することから、今まで以上に連携を強めるために生活科や総合的な学習の時間の内容の検討を含めて、今年度カリキュラムの抜本的な見直しを行いました。

５年生は「つながろうノホロっ子」をテーマに掲げ、新さっぽろ幼稚園との交流を行いました。ミニ先生になって、幼稚園の子どもたちを楽しませ、来年度６年生になったときの１年生のお世話に役立てようという計画です。今年度は雪遊びや、室内遊びの計画にとどまりましたが、来年度はもう少し時間を取り、有意義な活動を増やしていく予定です。

また、１年生は「みんないっしょに」というテーマの下、保育園の年少さんとの交流をしました。簡単な自己紹介の後、配膳のお手伝いをして、交流を深めていました。子どもたちは自己紹介の時は緊張したものの、給食のお手伝いでは立派にお兄さん、お姉さん振りを発揮していました。

どちらも、地域で一緒に育つ子ども同士、なかよく交流することによって、自らの成長を確かめ自信を深めたようです。とても有意義な交流でした。

【新さっぽろ幼稚園・保育園との職員の連携】

７月23日（水）には、新さっぽろ幼稚園、保育園の職員の皆様に本校にお越しいただき、１日日程で授業参観が行われました。また、授業参観だけではなく、幼稚園・保育園の先生方によるエプロンシアターやパネルシアターなどの出し物をしていただき、本校職員も子どもたちと一緒になって楽しむことができました。

その後、職員の懇談では、日頃の子どもたちの様子、接続期の問題点などの交流を行いました。

自分が幼稚園の頃を思い出すように遊ぶ子どもたち。小さな子のお世話を熱心にしたり、優しく語りかけたりする子もいました。

保育園の先生の指示を聞いて、とても真剣な表情です。配膳のとき、優しく声かけをする姿が見えました。

なつかしさ一杯の先生方。そしてパネルシアター。小学校へ入ってこんなに成長しました。

厚別区

# 札幌市立上野幌東小学校

〒004-0032
厚別区上野幌２条４丁目５－１

【校区内の公園清掃】

本校５年生は、毎年春と秋の２回、新さっぽろ幼稚園の園児と一緒に校区内の公園清掃を行っている。公園のゴミや枯葉を集めるだけでなく、５年生が簡単な遊びを企画し、園児と触れ合う時間も設定した。５年生は、園児と手をつなぎ、鬼ごっこをしたり、一緒に枯葉を集めたりすることを通して、最高学年としての自分たちの姿をイメージしながら期待に胸を膨らませていた。また、小学校生活に不安を抱く園児たちも、優しいお兄さん、お姉さんと接することで、小学校生活への安心感をもつことができた。

〔校区内の公園を一緒に清掃をしている様子〕

【幼稚園教諭による１日研修】

７月２４日に新さっぽろ幼稚園の教諭７名が来校し、本校で研修を行った。授業参観、児童との交流、給食指導まで参加し、幼稚園の教諭自身に小学校の１日を体験してもらった。それにより小学校生活に不安をもつ園児や保護者への具体的な関わりが可能となると考えた。放課後には、意見交換の場を設け、小学校として入学前に身に付けておいてほしいことや、幼稚園で入学前に重点的に指導をしているとなどを交流し、有意義な時間となった。小学校職員からも、幼稚園の参観を希望する声があがった。

〔幼稚園教諭が１年生と交流している様子〕

【生活科の学習を通しての交流】

１年生の生活科「ようちえんのともだちとなかよし」の学習で、１２月に新さっぽろ幼稚園の園児とまごころ保育園の園児を招待した。１年生が体育館で「ボーリング」「魚つり」などの自分たちで考えたお店を開き、園児たちに遊んでもらった。１年生は、お兄さんお姉さんとして、分かりやすく説明したり、自分からやさしく声をかけたりすることを通して、上級生としての自覚が芽生えた。園児たちも校舎の大きさに驚きながら、楽しい時間を過ごし、小学校への期待を高めていた。

〔園児にお店の説明をする１年生の様子〕

【成果と考察】

・小学校の児童は交流を通して、自分が上級生として新１年生を支えていきたいという自覚をもつことができた。小学校生活に不安をもつ園児も、校内の様子や優しい上級生が待っているということを知り、入学への期待を大いに高めることができた。
・校区内清掃、学習発表会や生活科の学習への参加などは継続的に行ってきたので、学校の取組として定着した。職員同士が顔を合わせる機会が増え、新１年生の入学をよりスムーズにするための協力体制が生まれた。
・小学校職員が幼稚園に出かけたり、児童と園児が共同で作業する機会を増やしたりしながら、定期的に話をする機会をつくることが重要である。互いの教育方針を共通理解することで、指導がつながり、児童をより豊かに逞しく育てていけると考える。